

西暦	年号	年齢	事項
1801	享和元	1	8.1山崎に生まれる。 細井平洲・本居宣長没。 碑文（先生姓は佐藤氏諱は楚杵字は晋用牧山雪斎は皆其別字なり尾張中島郡山崎村の人父は太四郎と昌い母は富田氏なり。）
1815	文化12	15	付近に教える師がいなかった。（鷲津松陰、河村乾堂に学ぶ。） 碑文（先生幼にして穎敏読書撃劔を喜ぶ。劔師曰く人の立身は一技に在り多岐なれば即ち亡羊なりと。先生感悟し此れより一意事に従い斯に丹羽の鷲津松陰、浪越の河村乾堂に就いて学ぶ。
1819	文政2	19	大沼竹溪を訪ねて昌平黌に入る。 碑文（勉励数年郷黨に傑出し年十九江戸に遊び昌平黌に入る。こがどうあんよだしよろい まつぎきこうどう 古賀侗庵依田匠里を師とし傍松崎謙堂に学ぶ。学資或は継がず昼は即ち人の為に傭書し、夜は即ち刻苦誦読往々徹曉目を閉じず人以って鰐魚と曰う。昌平勤学を以って称する者前後三人あり先生その一に居れりと。
1825	文政8	25	寺門静軒に会い、駒込に開塾。 碑文（学大いに進み 年二十五 駒籠にト居し徒に授く）
1831	天保2	31	江戸尾張侯の儒官になる。 碑文（頗る著れ尾張僖公（斉温）之を聞き召して儒官に列す）
1833	天保4	33	山崎に帰省。
1838	天保9	38	8.25江戸出発帰省 10.2市ヶ谷に帰る。
1839	天保10	39	2.20尾張僖公（斉温）薨じ12世斉荘尾張侯となる。 なりたか
1845	弘化2	45	7月斉荘公薨じ慶臧公13世藩主となる。 よしつぐ
1849	嘉永2	49	慶勝公14世尾張藩主となる。 よしかつ
1858	安政5	58	7月慶勝公蟄居。安政の大獄。茂栄公15世藩主となる。 もちなが
1859	安政6	59	茂栄（玄同公）に重く用いられる。 碑文（懿公（斉荘）侍講に任じ玄同公（茂栄）深く之を信じ礼遇甚だ渥く小納戸格より物頭班に陞す。講後問うに国事を以ってす。公の治績先生の啓沃與りて力ありと。
1863	文久3	63	8月茂栄公隠居。義宜公16世藩主となる。 もちなが よしのり
1864	元治元	64	長州征伐に尾張公出る。
1867	慶応3	67	弘道館総裁督学となる。
1868	明治元	68	名古屋に帰り中秋賜宴に出る。
1869	明治2	69	11月明倫堂学校と改称、教授となる。
1870	明治3	70	2月明倫堂督学となる。 碑文（既にして藩邸弘道館督学に任ぜられしも幾ばくもなく尾張に帰るを命ぜられ藩校明倫堂督学の事を行う。）

1871	明治4	71	7月明倫堂廃校。朝日塾を開く。 廃藩置県。 碑文（明治の初め藩を廃し城南に帷を下す。四方より来り学ぶ者雲集し其の名大いに揚がる。）
1881	明治14	81	史略、文鈔出版。廃塾。山崎に帰る。
1884	明治17	84	再度上京。老子講義出版。
1886	明治19	86	斯文学会講師となり、孫子講義をする。
1887	明治20	87	巖谷修邸で老子講義、伊藤博文感動する。
1888	明治21	88	米寿を中村楼で開く 碑文（晩年住を東京に移し 斯文学会の講師に属し 二十一年先生八十八 門人故旧相謀り寿宴を設く。会する者百余人清儒兪曲園等詩を寄せ之を賀す。）
1890	明治23	90	詩鈔出版。
1891	明治24	91	2月14日牧山没 碑文（二十四年二月十四日 病て終に距つ。享和元年八月一日に生れ寿九十有一牛籠原街専念寺の塋に葬る。

## 牧山佐藤先生の碑

三島 毅 撰

先生姓は佐藤氏 諱は楚杙 字は晋用 牧山雪斎は皆其別字なり

尾張中島郡山崎村の人 父は太四郎と昌い母は富田氏なり

先生幼にして穎敏読書撃劔を喜ぶ 劔師曰く 人の立身は一技に在り

多岐なれば即ち亡羊なりと 先生感悟し 此れより一意事に従い

斯に丹羽の鷺津松陰 浪越の河村乾堂に就いて学ぶ

勉勵数年 郷黨に傑出し 年十九 江戸に遊び昌平齋に入る

古賀侗庵 依田匠里を師とし 傍松崎謙堂に学ぶ 学資或は継がず

昼は即ち人の為に傭書し 夜は即ち刻苦誦読往々徹暁目を閉じず 人以って鰥魚と曰う

昌平勤学を以って称する者 前後三人あり 先生その一に居れりと

学大いに進み 年二十五 駒籠にト居し徒に授く

頗る著れ 尾張僖公（斉温）之を聞き召して儒官に列す

懿公（斉莊）侍講に任じ玄同公（茂榮）深く之を信じ礼遇甚だ渥く小納戸格より物頭班に

陞す 講後問うに国事を以ってす 公の治績先生の啓沃與りて力ありと

既にして藩邸 弘道館督学に任ぜられしも幾ばくもなく尾張に帰るを命ぜられ

藩校明倫堂督学の事を行う

明治の初め藩を廃し城南に帷を下す 四方より来り学ぶ者雲集し其の名大いに揚がる

文部省より硯及び六国史を 賚り之を賞す 晩年住を東京に移し斯文学会の講師に属し

二十一年先生八十八 門人故旧相謀り寿宴を設く

会する者百余人 清儒兪曲園等詩を寄せ之を賀す

二十四年二月十四日 病て終に距つ

享和元年八月一日に生れ寿九十有一牛籠原街専念寺の塋に葬る